



教授（名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻）公募のお知らせ

本専攻では、下記の要領により教授を公募いたします。

記

1. 職種・人員：

名古屋大学大学院環境学研究科
地球環境科学専攻地球環境変動論講座
教授・1名

2. 応募資格：

- (1) 大気・水圏にかかわる地球環境変動の研究を行い、この分野に関連する国内外の研究プロジェクトを推進した実績があること。
- (2) 地球環境科学の広い分野に見識を持ち、当研究科で推進するプロジェクトに参加できること。
- (3) 大学院教育に熱意を持ち、地球環境変動関連の授業を担当できること。

3. 着任希望時期：2006年4月1日

4. 応募書類：

- (1) 履歴書
- (2) これまでの研究と推進した研究プロジェクトの概要
- (3) 今後の教育・研究の計画と抱負
- (4) 研究業績リスト（和文のものは和文で表記すること）

こと）

- A. 査読のある原著論文
 - B. 総説、解説、報告（査読の有無を記すこと）
 - C. 著書
 - D. 国内外の学会活動、受賞歴、招待講演、社会との連携、その他特記事項
- (5) 主な論文の別刷り3編程度（複写可）
(6) 応募者に関する所見をうかがえる方2名の氏名と連絡先

5. 応募締切：2005年12月5日（必着）

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送すること。

6. 書類の送付先及び問い合わせ先：

甲斐 憲次
地球環境変動論講座教授選考委員会委員長
名古屋大学大学院環境学研究科
〒464-8601名古屋市中千種区不老町
Tel：052-789-4257, Fax：052-789-4257
E-mail：kai@info.human.nagoya-u.ac.jp

7. その他

当研究科の概要についてはホームページ
<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/>
をご覧下さい。

編集後記：気象学会のみなさんは、気象庁が発表する天気予報がはずれてしまった時、どのような感想をお持ちになりますか？

「気象現象はカオスだからある程度はしょうがないよなあ。」でしょうか？「気象庁情けないぞ！俺のモデルの方が当たるぞ」でしょうか？それとも、やはり「この税金ドロボー！」でしょうか…

気象庁では、2002年より気象等の情報をインターネットのホームページで提供していますが、このホームページを通じて、国民の皆様からさまざまなご意見、苦情が寄せられています。私の所属する予報部では、部の業務に関連するご意見を庁内ネットワーク上の掲示板に掲載し、情報共有を図っています。やはり、天気予報が大幅にはずれてしまったときや、台風進路予

想が思わしくなかった時などの「ご意見」の数は相当数にのぼり、申し訳ない気持ちでいっぱいになります。これら寄せられたご意見に対し、1通1通お返事をさせていただくことはなかなか困難なのですが、すべて国民のご意見として、業務に役立たせていただいています。

つい最近、なるほどと感心したご意見があったのでご紹介します。台風の「上陸」とはどのような状態であるかご存知でしょうか？みなさんご想像のとおり、台風の中心が本州などの海岸に達した場合を言うのですが、この定義が不適切というものです。「台風の中心は何々市付近にあって…」の表現は、被害が中心付近のみと錯覚させ、台風による被害予測を混乱させてしまう。台風による被害を減らすためには、暴風域や強雨範囲の陸への接近をもって台風の上陸とすべき、と。この意見、われわれ気象学関係者からはなかなか出せないと思いませんか？、私の上司も目からウロコと表

現していました。(残念ながら、このご意見を実際の気象業務に生かすのはかなり困難と思われそうですが…)いつも柔軟な考えを持とうと努力はしているもののやはり、いろいろな方々からの意見を聞くことは大切です。

この「天気」も、編集委員の凝り固まったアタマでは、面白い記事のアイデアがなかなか浮かんできません。こんなことをやって欲しい、などのご意見がありましたら、ご遠慮なく編集委員までお寄せください。

さてさて、みなさんお楽しみの気象少年養成物語コーナーです(笑)。いつの間にか5歳になった我が長男ですが、私自身、幼少の頃に愛読していた、今や気象予報士を目指す人たちの第一歩と誉れ高い「天気100のひみつ」(学習研究社)を買い与えてみました。この作戦が大成功で、休日の夜は「おとうさん、天気読んで読んで！」とせがまれます。気象予報士最年少記録はもらったな。ふふふ、次回乞うご期待！(金田昌樹)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 里村雄彦(理事)・古川武彦(理事)

藤部文昭(理事)

青柳曉典・池田 徹・榎本 剛

大淵 濟・笠原真吾・勝山健一

金田昌樹・上口賢治・川島正行

小出 寛・小林健二・桜井敏之

佐藤晋介・小司禎教・関山 剛

高橋 宙・田口晶彦・寺坂義幸

中西幹郎・中村 尚・新村典子

林 修吾・平井雅之・別所康太郎

水野 量・山本 哲

地区編集委員 北海道 伊藤道男・渡部雅浩

東北 土井雅彦・岡本 創

関東 岡田憲治・河野耕平

中部 岡田 京・永尾一平

関西 松村 哲・堀之内 武

九州 磯部英彦・中島健介

沖縄 新里博美

編集書記 棚橋公子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体(図書館も含む)は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619

E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp